

ノリ養殖情報（第18報）

令和8年2月18日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今年度の調査は、10月中旬から3月下旬までの期間に、陸上調査を17回、海上調査を6回の合計23回予定しています。
- 今回の調査は【陸上】調査です。

1. 調査結果

調査日：2月16日(月) 天候：晴れ 気温：8.9°C(2:08時点)

(今回(2/16)の水温等の測定時間帯 2:10~4:50) 前回と時間帯が異なるので注意してください。

(前回(2/10)の水温等の測定時間帯 9:15~10:28)

調査点		水温 °C		比重 σ ₁₅	栄養塩：無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月10日		今回	今回		前回 2月10日	今回
1. 神代	支柱	9.4	7.7	19.9	23.6	2.6	12.9	+	なし
2. 仲よし下	ベタ	9.5	10.2	24.1	3.1	1.1	5.3	+	なし
3. 半田	支柱	9.5	10.8	23.5	4.3	14.8	11.4	++	なし
4. 三会	支柱	9.2	9.6	22.5	3.7	4.9	6.4	++	なし

※ 栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※ アカ、ツボ：なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

●主な植物プランクトン（単位：細胞/mL）

植物プランクトン (優占種)	大型珪藻			小型珪藻		
	ユーカンピア属	リゾソレニア属	コンノディスカス属	キートセロス属	スケレトネマ属	ナビキュラ属
1. 神代		26			9	4
2. 仲よし下		20	1	16		
3. 半田		10	3		46	
4. 三会	4	36	1	55		

●調査結果概要

- ・水温は、9.2℃～9.5℃。海水比重(σ₁₅)は、19.9～24.1。
- ・漁場に設置している温度計の2月2日から2月15日までの測定結果は、平均温度は4.4～11.8℃で、昨年より-0.9～1.9℃で推移しました。
- ・栄養塩は、3.1～23.6 μg-at/Lで、4調査点中1点でノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・クロロフィル量が高い状態が続いています。植物プランクトンはケイ藻類(主にリゾソレニア)が優占しています。
- ・あかぐされ病は4漁場中4漁場(目視レベル2漁場・検鏡レベル2漁場)で確認されました。壺状菌病は確認されませんでした。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高5,600・3,660細胞/ml (1月30日～)
- 福岡県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高2,890・1,360細胞/ml (2月2日～)
- 熊本県:珪藻類(スケルトネマ属) 最高6,600細胞/ml (2月9日～)

3. 他県の情報

- 佐賀県:東中部では、アカが10点中6点で確認されました。
糸状細菌が10点中6点で確認されました。ツボは確認されませんでした。
色落ちは、10点中8点(色落ちレベル2.5～4)で確認されました。(2月13日)
- 福岡県:現在、冷凍網の3～4回目の摘採が行われています。
色落ちは18調査点で確認され、軽度が2点、中度が1点、重度が15点でした。
アカは18調査点で確認され、軽度が3点、中度が2点、重度が13点でした。
ツボは確認されませんでした。(2月16日)
- 熊本県:色落ち(重度から軽度)がベタ漁場を中心に見られます。
アカを18地点で確認、ほぼ全域に蔓延しています。ツボは未確認でした。
珪藻プランクトンは依然として多い状況が続いています。(2月13日)

4. 本県の情報

- 現在、摘採作業が行われています。
- 色落ちは全域で見られました(軽度:神代・仲よし下・半田・三会)。
- ノリ網の検鏡結果
あかぐされ病(目視レベル:半田・三会、検鏡レベル:神代・仲よし下)で確認されました。
ツボの感染は確認されませんでした。
付着物は、珪藻(タビュラリア、リクモフォラ、アクナンテス、メロシラ)、ボド(吸管虫)が見られました。
- 病害がまん延を防ぐために生育管理に努めてください。